京都大学 化学研究所

公開講演会

プログラム

10:00〜10:05　所長挨拶　　化学研究所長　辻井 敬亘

10:05〜10:40
もっと光を！　レーザーが拓く可能性

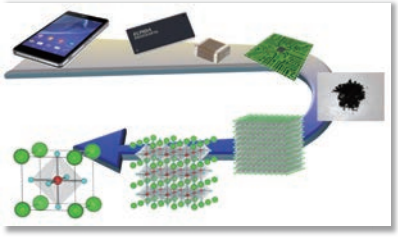
教授　阪部 周二

「光」、日常生活ではあまりにも当然のように存在しているものです。当然のように存在するが故に、それは極めて重要なものであることは誰しもが想像できます。このような光に関して革命をもたらしたのは20世紀最大の発明と言われる「レーザー」です。今日では、レーザーは生活・産業・医療・科学などあらゆる分野で用いられているとともに、さらなる応用への可能性を秘めています。光の本質、レーザーの原理、現在の応用、未来に期待される応用などについて紹介します。

10:40〜11:15
世の中を便利に快適にする新材料を創る

教授　島川 祐一

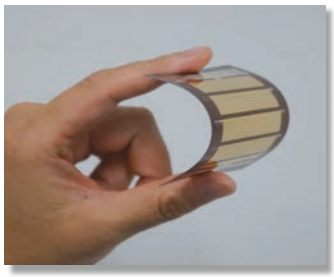
今日の我々の日常は、情報機器と呼ばれるさまざまな電子機器で便利で快適なものとなっています。それでも、「もっと便利に、より快適に」に応えるための新材料開発が求められています。未だ世界で誰も作ったことのない新物質を作り出し、その機能により、さらに便利で快適な高度情報化社会の実現を目指す、そのような最先端材料基礎研究を紹介します。



11:15〜11:50
ペロブスカイト太陽電池〜印刷でつくる次世代型太陽電池の研究最前線

教授　若宮 淳志

太陽光エネルギーを効率的に電気エネルギーに変換する太陽電池は、再生可能エネルギー創出技術の有力候補の一つです。最近、ペロブスカイトと呼ばれる半導体材料を用いた次世代型太陽電池が急速に注目を集めています。この太陽電池は材料の塗布（印刷）技術により作製でき、軽くて曲がる、フィルム型の太陽電池にもできるという特徴をもちます。本講演では、我々が材料化学の視点から取り組んでいる「ペロブスカイト太陽電池」の研究の最前線について紹介します。



2018年10月28日(日)
10:00〜11:50

参加費無料　事前申込不要

会　場　宇治おうばくプラザ1階 きはだホール
（京都大学宇治キャンパス内）

定　員　300名